

2026 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 ダントーホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 前 山 達 史
 (コード番号 5 3 3 7 東証スタンダード)
 問合せ先 取締役総務部長 田 中 靖 久
 (TEL (06)4795-5000)

特別損失の発生及び通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2025 年 8 月 12 日に公表いたしました 2025 年 12 月期通期連結累計期間の業績予想値と実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の内容

(1) 投資有価証券評価損

当社の連結子会社でありますダントーテクノロジーズ株式会社が保有する非上場株式について、直近の財務状況及び今後の事業計画から、「金融商品に係る会計基準」に基づき時価評価を行った結果、20百万円を特別損失に計上するものであります。

(2) 貸倒引当金繰入額

当社の連結子会社でありますダントーテクノロジーズ株式会社が保有する債権について、直近の財務状況及び今後の事業計画から、465百万円を特別損失に計上するものであります。

2. 2025年12月期通期連結業績予想値と実績値との差異 (2025年1月1日～2025年12月31日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	6,300	△ 180	△ 170	1,050	32円75銭
今回発表実績 (B)	4,915	△ 664	△ 653	740	23円10銭
増減額 (B－A)	△ 1,385	△ 484	△ 483	△ 310	
増減率 (%)	△ 22.0	—	—	△ 29.5	
(ご参考) 前期実績 (2024 年 12 月 期)	5,315	△ 987	△ 991	33	1円05銭

3. 差異の理由

2025年12月期通期連結累計期間の業績につきましては、タイル事業においては、販売体制の強化及び指定力の向上、高付加価値商品の拡販による利益率の改善に努めて参りましたが、建設コストの高騰の影響によりタイル施工面積の減少、廉価品や他部材への変更等を余儀なくされ、また、原材料、燃料及び運賃等の急激な物価、為替の高騰などの影響を大きく受け、タイルを取り巻く環境は引き続き非常に厳しい状況にあり、売上高511百万円、営業利益257百万円、前回発表予想値を下回る結果となりました。

不動産事業においては、新規及び複数の追加のアセットマネジメント業務を受託、投資アドバイザー事業として大阪市内の賃貸住宅のポートフォリオの取得に関するアドバイザー業務を受託いたしましたが、売上高については前回予想を40百万円下回る結果となりました。一方で営業利益については前回予想を37百万円上回る結果となりました。

発電機事業及び再生可能エネルギー事業につきましては、当初、第3四半期以降に売上を見込んでおりましたが、翌期以降にずれ込んだことにより、発電機事業については売上高312百万円、営業利益148百万円、再生可能エネルギー事業については売上高520百万円、営業利益115百万円、それぞれ前回発表予想値を下回る結果となりました。

これらの結果、売上高1,385百万円、営業利益484百万円、経常利益483百万円、親会社株主に帰属する当期純利益については、上記の特別損失を計上したことにより、前回発表予想値を310百万円下回る結果となりました。

以 上